

# ESPO

2015.6・7月合併号

No. 565

宮城県中小企業団体中央会

「ESPO」とは++フランス語の ESPOIR (エスポワール) の略で『希望』の意味です。社会にとって明るく可能性と希望に満ちた存在であり、バイタリティあふれる中小企業を象徴するものとして命名しました。



# 日本リ・ソイル工業協同組合が10周年を迎えました。

6月4日、JALシティ仙台(仙台市内)に於いて、日本リ・ソイル工業協同組合の創立10周年となる通常総会が行われました。

当組合は産業廃棄物の中でもリサイクルが困難な汚泥の再資源化と適正処理を目的に環境省認可の組合としてスタートしました。

**現在の組合員数は全国に23社。**

建設工事や掘削工事に伴って発生する汚泥は産業廃棄物として処理する必要がありますが、当組合では汚泥をリサイクル資材「ユニ・ソイル」として再生し、建設工事への活用を推進しています。

リサイクル資材「ユニ・ソイル」は、国土交通省が運営するNETIS(新技術情報提供システム)に新技術として登録してい

ましたが、この度、国土交通省の新技術活用評価会議で事後評価を受け、V登録となりました。施工者にとってはNETIS登録技術の活用により、公共工事の際の入札段階における総合評価方式や活用段階における工事成績評定で加点対象になることが期待できますが、V登録により更に有利な加点の可能性もあります。また、組合の本部がある新潟では、都市銀行である第四銀行によって「ユニ・ソイル」をABL(動産・売掛金担保融資)の対象として推奨したことにより、産業廃棄物の再生品が担保価値を持つこととなります。

通常総会で熊木繁雄理事長(株式会社アイシン 代表取締役)は、これからも資源循環型社会の普及と構築に貢献し、地球にやさしい環境を創造する一翼を担いたいと話されました。

処理プラントで汚泥からユニ・ソイルが製造される様子



ユニ・ソイルを盛土材・路床材として活用



総会での熊木理事長挨拶



陸前高田市での震災復興プラントの様子



移動式処理プラント